平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	心理アセスメント(Psychological Assessment)			授業コード	E036801
担当教員名	高橋 淳一郎			科目ナンバリングコード	E31002
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	ピアヘルパーの資格試験を受験希望する学生は必ず履修してください。				
受講心得	遅刻、無断外室、講義中の携帯電話の使用、おしゃべりなど他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。大学生として最低限のマナーを守って履修してください。 また、講義では実際に心理テストを使用します。非常に高度に専門的なものであり、時にそれは自分や他人を傷つけることもあります。決して遊び半分で受講することのないように真剣に取り組んでください。使用する心理テストによっては1回の講義ですべてを説明できないこともあり、複数回にわたってテストの説明～実施～解釈方法～分析と進むこともあります。1回休むと2回分の講義が無駄になることもあるので、休むことのないように注意してください。				
教科書	指定しない				
参考文献及び指定図書	よくわかる 心理臨床 皆藤章 編 ミネルヴァ書房 YG性格検査 YGテストの実務応用的診断法 八木俊夫 日本心理技術研究所 樹木画テスト 高橋雅春・高橋依子 文教書院 WISC-Rによる知能診断 Kaufman,A.S. 日本文化科学社 精研式文章完成法テスト解釈－成人用－ 佐野勝男・槇田仁 金子書房 心理検査ハンドブック 塩見邦雄 編著 ナカニシヤ出版 臨床投影法入門 池田豊應 編 ナカニシヤ出版				
関連科目	カウンセリング、臨床心理学、心理学、児童心理学、青年心理学、老年心理学、精神保健学				

授業の目的	アセスメントの方法は多岐にわたり、心理テストだけでも非常に多くのものが開発、使用されています。この講義では、まずアセスメントの方法を概説した後に、知能検査・人格検査・不安検査・作業検査などの代表的な質問紙法心理テストについて学び、さらにいくつかの投影法心理テストを学んでいくことで、心理臨床のみならず福祉や教育の現場で役に立つ心理アセスメントの基礎的な知識を身につけてもらうことが目的です。また、自己分析シートの作成を通じてデータを読み解く力や、データから適切な表現につなげていく能力を身に着けてほしいと考えています。
授業の概要	この講義では複数の心理テストについて実際に体験してもらいながら、その取り扱い方や解釈の方法などを学んでもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション・心理アセスメントの方法 心理テストだけがアセスメントの方法ではありません。ここでは心理臨床場面でどのような手続きによってアセスメントがなされているのか、実際のカウンセリング場面を題材にしながら説明していきます。	指定図書を用いた予習60分 リアクションペーパーの提出 講義内容の復習30分
第 2 週 ： 心理テストの効用と限界 心理テストの種類や用いられ方、心理テストによってわかること、わからないこと、テストバッテリーについてなど、心理テストに関わる基本的な知識や効用と限界について学びます。	指定図書を用いた予習60分 リアクションペーパーの提出 講義内容の復習30分
第 3 週 ： 知能検査①	

心理査定の基本である知能検査について学んでいきます。第1回目はビネー式やウエクスラー式など面接方式で行われる個別知能検査について、実際の器具を提示しながらお話をしていきます。	指定図書を用いた予習60分 リアクションペーパーの提出 講義内容の復習30分
第 4 ・ 5 知能検査②･③ **週　　：** 教育の場面などでは個別式ではなく全体で知能検査を実施することもあります。ここでは集団方式の知能検査として「京大NX知能検査」を題材に学んでいきます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第 6 ・ 7 人格検査①･② **週　　：** これまでにも人格検査（性格検査）は触れたことがある人も多いのではないでしょうか。ここでは国内でよく使われる人格検査として「YG性格検査」を用いて人格の査定方法について学んでいきます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第 8 週 ： 人格検査③ 最新の人格理論では人間の性格特性は5つに集約されると言われています。このBig5理論に基づいた「BFPI（主要5因子性格検査）」について学んでいきます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第 9 ・ 10 作業検査 **週　　：** 決められた作業をしてもらうことによって、その人の性格特性を測ろうという査定方法があります。その代表的な「内田クレペリン検査」を扱っていきます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第11週： 不安検査 人が持つ不安の高さを測ることで、その人の状態を把握することを求められることもあります。そのときに使われる代表的な尺度として「顕在性不安検査（MAS）」について学んでいきます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第12週： 投影法① 投影法によく見られる手法として絵を描いてもらうやり方があります。絵は知らず知らずのうちにその人の心をよく映しているものです。ここではその代表的な「バウムテスト」について学んでもらいます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第13･14 投影法②･③ **週　　：** 絵だけでなく、人が書く文章や文字そのものにもその人の心を読み解く多くのヒントが隠されています。ここではそのような手法である「文章完成法テスト（SCT）」を紹介していきます。	指定図書を用いた予習60分 自己分析シートの提出 講義内容の復習30分
第15週： まとめ 特に基本となる代表的な心理テストを紹介してきましたが、あらためて、それらを使った心理アセスメントのあり方について復習しながら、アセスメントという作業の重要性と難しさを考えていきます。また、提出してもらうレポートについても説明をします。	指定図書を用いた予習60分 リアクションペーパーの提出 講義内容の復習30分

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①テストバッテリーの考え方を理解できる。
【知識・理解】	②心理アセスメントの必要性および効果・限界について理解できる。

【技能・表現・コミュニケーション】	③知能検査・人格検査などの代表的な尺度の取り扱いや解釈の基本について理解できる。 ④代表的な投影法テストについて理解できる。
【思考・判断・創造】	⑤心理テストの結果について客観的な解釈ができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	5点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	心理テストを実施した際には必ず自己分析シートを提出してもらいます。それらを毎回10点満点で採点し、評価の40%に充てます。提出された自己分析シートは翌週には返却し、そこに教員からのおおまかな評価を記載することによって自己分析がどの程度できていたか確認してもらいます。 さらに、学期末にはこの講義で実施したすべての心理テストを用いた自己分析レポートを提出してもらいます。それを評価の40%に充てます。自己分析シートは結果の整理および解釈方法について理解しているか、自己分析レポートはテストバッテリーを踏まえて複数のテスト結果を総合的に判断できているか、それぞれ客観的に分析ができているかどうかの観点で評価します。
発表・その他（無形成果）	出席点を20点満点とし、1回の欠席ごとに2点を減点する方式で評価に取り入れます。